

福島県生活協同組合連合会

創立70周年 記念式典

式次第

開会挨拶

主催者挨拶

来賓挨拶

福島県知事

内堀 雅雄 様

地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会会長

大橋 信夫 様

福島県労働福祉協議会会長

今泉 裕 様

日本生活協同組合連合会会長

浅田 克己 様

70年の歩み DVD 上映

未来に向かって

エル・システムジャパンの取り組み紹介

一般社団法人エル・システムジャパン代表理事

菊川 穰 様

相馬市とエル・システムジャパンが応援する「相馬子どもコーラス」

～本日の合唱曲～ 「さくらさくら」「相馬盆唄」「ほらね」

閉会挨拶





福島県生活協同組合連合会
会長 吉川 毅一

福島県生協連は、終戦の翌年の1946年（昭和21年）6月11日に当時の福島消費組合（現在のコープふくしま）など県内6つの消費組合が発起人となり創設され、今年で創立70周年を迎えました。

県生協連の活動にご協力を頂き、支え続けて頂いております。県内の各生協組合員はもとより、日本生協連を始めとした全国の生協関係の皆様、福島県をはじめとした自治体・行政の関係の皆様、そして、J A 福島中央会、県漁連、県森林組合などの協同組合関係の皆様、関係各種団体の皆様に、心から御礼を申し上げます。

創立期の県生協連は1951年の日本生協連の創立に貢献し、また同年東北では初めてとなる労働金庫の創立にも力を注ぎました。1952年、傘下生協の相次ぐ壊滅により、一旦はその活動を休止せざるを得ない困難がありましたが、その後復活し、県労働者共済生活協同組合の設立や県労働福祉協議会、県消費者団体連絡協議会の設立など、勤労者県民のための活動を推進してきました。

1967年から1980年前半にかけて県内にも次々と医療生協が設立され、県内の各種生協が加盟する連合会をめざして、購買生協連としての組織目的を明確にし、活動内容も専門化させながらも、統一的組織である福島県総合生協連を1980年に発足させました。

その後、1990年代になり会員生協の経営問題や合併問題などが続く中、各種生協の新たな協同活動を進めるため、1998年に県総合生協連から県生協連に名称を変更し、現在に至っています。設立当初から県内生協の連帯はもとより、新たな生協設立への援助、労働組合・事業団体などの連帯を目指し、数々の協同の取り組みを行ってき

ましたが、その精神は現在も伝統として引き継がれております。

2000年以降、21世紀に入ってから歴史を振り返ってみますと、やはり2011年3月に発生をした東日本大震災と原発事故を抜きにしては語れません。地震と津波による未曾有の甚大な被害と原発災害に対して、県生協連をはじめ県内のすべての会員生協が果たした役割、それを支えて頂いた日本生協連をはじめ全国の多くの生協からの力強い支援は、協同組合が果たすべき使命と価値そのものでした。土壌スクリーニングプロジェクトや福島の子ども保養プロジェクトなど一連の取り組みは、通常求められる県生協連の活動領域をはるかに超えるものであり、様々な方面で高い社会的評価を頂いていますが、その教訓は今後の生協運動に必ずや生かされるものと信じています。

今日日本は、人口減・超高齢化、環境・エネルギー、格差・貧困、平和など様々な面で大きな課題と直面しています。組合員の暮らしも厳しさを増しています。現在、県生協連には、5つの購買生協と5つの医療生協、そして学校生協、福島大学生協、県労済生協の13生協が加盟をしております。それぞれの単協が、創設者の伝統を受け継ぎながら、全国の生協が掲げる21世紀理念「自立した市民の共同の力で、人間らしい暮らしの創造と、持続可能な社会の実現」に向かって、県内の仲間、全国の仲間とともに力を合わせ、努力を重ねていくことをあらためて誓い合いたと思います。

歴史は未来への指針であり多くの教訓を教えています。県生協連の70年の歴史が次世代に引き継がれ、新たな歴史を紡いでいくことを願ってやみません。



福島県知事 **内堀 雅雄** 様

福島県生活協同組合連合会創立70周年、誠におめでとうございます。

貴連合会は創立以来、県内会員生協の協力・協働と、その活動の充実・向上に取り組んでこられました。

時代の変化に応えつつ、会員生協の力を高め、組合員の生活向上に貢献する数多くの事業に務められてきたことに、深く敬意を表します。

また、震災及び原発事故の直後には、「災害時における物資供給の協力に関する協定」に基づく御



日本生活協同組合連合会
代表理事会長 **浅田 克己** 様

福島県生活協同組合連合会様の創立70周年にあたり、全国の生協の仲間と共に、心よりお祝いを申し上げます。

先ずもって生協の創生期より歴史を積み重ねて今日までの運営に携わられた皆様のご苦勞とご努力、そして会員と組合員の皆さんの活動に対しまして心より敬意を表します。

東日本大震災からの5年間は、通常の県連活動に求められるものをはるかに超えた内容で、共同のネッ



福島県農業協同組合中央会
会長 **大橋 信夫** 様

福島県生協連の創立70周年、誠におめでとうございます。

終戦後の困難な時期に産声をあげ、日本生協連の創立にも貢献する等、全国でも先駆的な生協運動に取り組んでこられた先人のご功績と、長年にわたりその成果と伝統を引き継いでこられた会員皆様のご努力に対して深甚なる敬意を表する次第であります。

福島県生協連は、私どもJAグループ福島と県森連・県漁連等とともに、「地産地消ふくしまネット」を組織

協力と、総額10億円超の義援金を賜り、厚く御礼申し上げます。

震災から5年7か月が経過した今も、多くの方々が避難生活を続けるなど、福島県の復興は未だ途上にあります。

県としても、復旧・復興のため、風評対策や食の安全・安心確保などに全力で取り組んでいるところであり、引き続き皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の御発展と、御参会の皆様方の御活躍、御健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

トワークを作られ、その中核として活動してこられました。生協だけにとどまらず、幅広く協同組合をつなぎ、地域の復興に尽力されてきました。その支援活動のひとつである「福島の子どもの保養プロジェクト」は、全国の生協が共感し、共に復興に向けた活動として取り組めたよい手本となりました。今後も全国の生協や他団体と連携しながら、被災地に寄り添った継続した活動が行われますことを祈念いたします。

70年の歴史の重みに敬意を表しお祝い申し上げますとともに、福島県生活協同組合連合会様が未来に向けて一層力強く進まれていかれることを心よりお祈り申し上げます。

し、県内における地産地消運動の発展と大震災・原発事故からの復興に向けた食の安全安心確保対策や県産農畜産物の利用促進等に積極的に取り組みいただいております。このことは、県内農業生産者にとって大きな励ましとなっております、改めて感謝申し上げます。

そして、2012年国際協同組合年を契機とする県内の協同組合間協同の強化に向けても、協同組合運動・消費者運動の中核としての役割をご期待申し上げます。

福島県生協連が会員間の連携を一層強化され、ますます発展されますようご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



福島県漁業協同組合連合会
代表理事会長 野崎 哲 様

福島県生活協同組合連合会の創立70周年を祝し、本県漁業者を代表致しまして一言お祝い申し上げます。

貴会は昭和21年6月11日に創設されました、我が国でも有数の歴史を誇る生協連であり、創設以来本県組合員の文化的、経済的な改善向上を図る為の活動を推進してこられました事、心より敬意を表する次第です。

そして東日本大震災では、被災地のインフラ

と物流網が寸断されるなか、福島県との災害協力協定に基づき、日本生協連と災害対策本部との連絡調整に尽力し、状況の把握と物資の確保に奔走されました。その後も食と健康、そして原発事故の問題に一貫して取り組まれ、生産者と消費者を結ぶ活動を続けられております事に感謝申し上げます。

末筆ではありますが、貴連合会のこれまでの70年の活動に敬意を表するとともに、今後のさらなるご発展をご祈念申し上げ、私からの祝辞とさせていただきます。



福島県森林組合連合会
代表理事会長 秋元 公夫 様

福島県生活協同組合連合会創立70周年を心よりお慶び申し上げます。

昭和21年6月に任意組合「福島県生活協同組合連合会」として設立されて以来、県内の生協が協力・協同して活動の輪を広げ、相互に啓発し会員生協の組合員の改善のために尽力されたご苦労とご努力に対し敬意を表します。

特に、平成23年3月に発生した東日本大震災を起因とした東京電力（株）第一原発事故にと

もない、発生した見えない放射線について、積極的に会員・組合員の暮らしに安全・安心を届けることに尽力したことについては、会長初め役員各位の努力のたまものであり、協同組合の範となるものと感謝申し上げます。

終わりに、貴連合会がさらに会員・組合員から信頼され、消費者とともに歩まれることをお願い申し上げるとともに皆様方のご多幸とご健勝を祈念し創立70周年記念の言葉と致します。



福島県労働福祉協議会
会長 今泉 裕 様

創立70周年を迎えましたこと、心から御祝いを申し上げます。

70年の歴史は、戦後の荒廃と生活困窮のなかで、相互扶助の精神に基づく生協運動は、地域社会の形成と経済活動の基盤を構築したものであり、その功績は極めて大きく、戦後復興の道程と地域発展そのものであると思います。

また、2011年3月11日に発生しました東日本大震災から今日までの間、主な取り組みとなる「福島の子

ども保養プロジェクト」の推進、風評対策による「県産品の支援」と「地産地消」の推進など、他に例を見ない傑出した取り組みとなっており、その成果は極めて大きなものであると思います。

そして今、復興への取り組みと重なるように新たな社会情勢の変化に伴い、国際的に共同体組織の連携が強くと望まれています。今後の福島県の復興と創生に向け、労福協構成団体の連携のもと、子どもたちが将来に希望の持てる社会づくりに努力して行きたいと思います。

福島県	副知事	鈴木 正晃 様	福島県漁業組合連合会	代表理事会長	野崎 哲 様
福島県消費生活課	課長	菅原加代子 様	福島県森林組合連合会	常務理事	遠藤 誠寿 様
福島県秘書課	主任主査	渡辺 浩史 様	福島県労働福祉協議会	会長	今泉 裕 様
福島県消費生活課	主査	馬場 佳 様	福島県農業協同組合中央会	常務理事	川上 雅則 様
地産地消ふくしまネット	会長	大橋 信夫 様	東北労働金庫福島県本部	本部長	小野 利市 様
日本生活協同組合連合会	会長	浅田 克己 様	生活協同組合コープあおもり	理事長	小池 伸二 様
青森県生活協同組合連合会	会長	平野 了三 様	いばらきコープ生活協同組合	代表理事理事長	鶴長 義二 様
茨城県生活協同組合連合会	会長理事	佐藤 洋一 様	生活協同組合パルシステム茨城	理事長	石川 弓子 様
新潟県生活協同組合連合会	会長理事	田才 栄敏 様	生活協同組合ユーコープ	理事長	當具 伸一 様
富山県生活協同組合連合会	会長理事	小泉 謙二 様	生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ	業務執行理事 運営本部長	井上 晋次 様
宮城県生活協同組合連合会	専務理事	野崎 和夫 様	生活協同組合コープみえ	理事長	西川 幸城 様
山形県生活協同組合連合会	専務理事	大友 廣和 様	市民生活協同組合ならコープ	理事長	森 宏之 様
茨城県生活協同組合連合会	専務理事	古山 均 様	大阪いずみ市民生活協同組合	理事長	藤井 克裕 様
神奈川県生活協同組合連合会	専務理事	丸山 善弘 様	生活協同組合おかやまコープ	専務理事	田中 照周 様
奈良県生活協同組合連合会	専務理事	辻 由子 様	生活協同組合コープあきた	常勤理事	山野内 雅志 様
大阪府生活協同組合連合会	専務理事	中村 夏美 様	生活協同組合おおさかパルコープ	常勤理事	永岡 志朗 様
秋田県生活協同組合連合会	常務理事	小林 芳昭 様		役員室部長	松岡 賢司 様
日本生協連北海道・東北地連	事務局長	山崎 若水 様			

名簿順等に失礼な点がございましたら祝事に免じてご寛容の程お願い申し上げます

未来に向かって

一般社団法人 エル・システムジャパン

東日本大震災が発生した翌年の 2012 年、エル・システムジャパンは被災地で子どもたちを支援していくために設立されました。同年 5 月に福島県相馬市と「音楽を通して生きる力を育む」事業の協力協定を締結し、家庭の経済状況や障害の有無を問わず、希望するすべての子どもに音楽教育を無償で提供してきました。

「相馬子どもコーラス」は、相馬市立桜丘小学校合唱部をベースに中学生の合唱部 OB・OG が加わった形で活動がはじまり、震災後に再建された相馬市民会館で 2013 年 12 月にデビューしました。その後、「相馬市東日本大震災追悼式」や「エル・システム子ども音楽祭 in 相馬」をはじめとする地域行事、「ドウダメルと子どもたち」や東京ドームでの始球式など、東京さらには世界とも繋がる舞台上で合唱を披露する機会をいただけてきました。また、音楽コンクールにも積極的に参加して、新しい目標にチャレンジしながら経験を積んでいます。

2016 年 9 月現在、「相馬子どもコーラス」には小学生 50 名、中学生 18 名が在籍しています。音楽監督は、「NHK 東京児童合唱団」を常任指揮者兼音楽監督として世界レベルの合唱団に育

て上げた、古橋富士雄先生。桜丘小学校合唱部顧問の小島弥生先生も、「相馬子どもコーラス」の指導担当として日々の練習をサポートしています。

「相馬子どもオーケストラ」では、子どもたちが互いに思いやることを大切にしています。年長の子どもの年少の子どもの面倒を見たり、わからないところがあったら教え合ったり、仲間と共に成長することに主眼を置いています。また、これまでに英語、ラテン語、ハンガリー語の歌にも挑戦してきましたが、ただ外国語で歌うのではなく、歌詞の意味や文化的な背景なども合わせて学び、子どもたちが幅広い教養を身につけることを目指しています。

仲間と一緒に歌を歌うことは大きな喜びです。音楽を通して自己を表現し、仲間と連帯意識を深め、また受け手とも繋がるという経験は、子どもたちにとってかけがえのないものです。先行きの見えにくい厳しい状況において、エル・システムジャパンは、子どもたちを中心に家庭や地域を音楽がもたらす力で長期的に支えていきたいと考えています。



子ども音楽祭 FESJ/2016/Mihoko Nakagawa

「虹を創る」福島県内の生協と県生協連の35年の歩みより

1946
昭和21年

■四月頃より福島消費組合が中心となり「福島県生活協同組合連合会」設立発起人会が発足する。

「福島県生活協同組合連合会」の結成を報じた昭和21年6月12日の福島民報二面トップの記事▼

福島県下の全消費組合に檄す

経済民主の實現たる、生活協同組合が各地、各地に於て、全般的な組織にある現況、各組合は互にセクシヨナリスムを止し、互に組織の力によつて協同組合本来の目的を達成しなければならぬ事は言までもない、此の要請を以つて我等はここに福島県生活協同組合設立の敢てを提唱する。就ては左記の通り創立運動を推進し、速に縣下組合各々の表心からなる支持と参加を切望します。

記

1. 開催日時 昭和二十一年六月十二日午前十時
1. 開催場所 福島市駅前町 警察官舎(福島市警察署)
1. 議 事 1. 事業計画に關する件
2. 規約制定に關する件
3. 役員選挙に關する件
1. 協 議 林制物買取救済運動に關する件

福島 石巻加組は開催日前迄に規約、役員名册、事業状況を知照出成りたし

福島市新町四八 福島消費組合内

福島県生活協同組合聯合會 發起人組合

福島消費組合	飯坂消費組合	三春消費組合	石川消費組合	原町消費組合
本郷消費組合	原町消費組合	石川消費組合	三春消費組合	飯坂消費組合
福島消費組合	飯坂消費組合	三春消費組合	石川消費組合	原町消費組合
本郷消費組合	原町消費組合	石川消費組合	三春消費組合	飯坂消費組合

▲昭和21年6月7日付福島民報に掲載の広告

- 【福島県生活協同組合連合会・設立時の役員】**
- | | | | | | | | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|----------------|--------------|---------------|----------------|
| 理事長 榎原 巖 (福島消費) | 専務理事 関 誠一 (福島消費) | 理事 阿部 喜助 (福島消費) | 川田 昌孝 (郡山消費) | 大竹 謙蔵 (石川消費) | 渡部 誠 (田島消費) | 加藤 忠平 (会津本郷消費) | 荒川 玄岑 (県農業会) | 中山 宗吾 (瀬之上消費) | 本田雄三郎 (郡山生産消費) |
| 丸ノ内鉄之助 (飯坂消費) | 安瀬利八郎 (三春消費) | 草野 秀雄 (若松消費) | 鯨岡 潔 (湯本消費) | 渡辺 敏 (原町消費) | | | | | |



設立時の二名の職員(向って左側 龜山哲三、右側和田七郎)復員したばかりでまだ坊主頭。

昭和二十一年六月

(二)

協同組合運動の一步前進

縣下消組聯合成る

さらに東北協組聯の結成へ

縣下にも地域或は町域を單位とする町協組聯で開いた、この聯合會は既に東京、群馬、神奈川、京都等一部一府七縣に設立を必力強いので、これを更に能力なものに育てあげよと各消組聯合のセフト主義を捨てよと提議、飯坂、三春、石川、原町、本郷の各地域消組聯合發起人ととなり聯合會設立の準備を進め大同協組聯合會の目的は縣下の各消組聯合を包含して協同組合の普及及び其結成大會を十一月福島市で開催すべしと決定した

△理事 榎原巖(福島) 關誠一(同)

△副理事 中山宗吾(瀬之上) 本田雄三郎(郡山生産)

△監事 阿部喜助(同) 安瀬利八郎(三春) 大竹謙蔵(石川) 加藤忠平(本郷) 渡邊敏(原町) 丸ノ内鉄之助(飯坂) 川田昌孝(郡山) 草野秀雄(若松) 荒川玄岑(縣農業會) 鯨岡潔(湯本) 渡辺敏(田島)

このほか小名浜消費組合からも選出の會、聯合會には理事の互選の結集榎原氏に決定しその後縣に入り主務を兼せ生活必需品の配給擔持を就いて縣知事に陳情することになった

△同協組聯合會は日本協同組合同盟(東京)の傘下に入る決定で近日東北地方生活協同組合聯合會を設立する決定である

平成9年 (1997)

・購買生協協会商品政策委員会において「県内生協仕入れ担当者会議」を設置し、共同企画、共同仕入を進める。
 ・10月7日 総合生協連創立50周年記念式典開催。



平成10年 (1998)

・3月、福島県と「災害時における物資等の調達に関する協定書」締結
 ・ふくしま大豆の会結成。



・「遺伝子組み換え食品表示ガイドライン」を策定し、事業対応の県内統一。
 ・9月22日、臨時総会開催。
 ・県内の大型小売店（第1種）の出店が相次ぐ。（福島サティ・マックスパリュウを核とするイオンタウン・ヨークベニマルを核とするメガステージ・マルトを核とする岡小名ショッピングセンター）
 ・全国の多くの生協で経営悪化。ニセ牛肉問題で生協経営のモラルが問われるなどの事件がありました。東北地区でもいくつかの生協が経営危機に陥り、倒産したり日本生協連帯基金の適用を受けました。県内でも購買生協が経営困難に陥り、県連を通して日本生協連に支援要請するとともに経営再建の取組みを開始。
 ・4月13日、臨時理事会において、コープふくしまの日本生協連帯基金申請に関する連帯保証について協議決定。
 ・5月28日、総会において、県総合生協連から県生協連に名称変更。

平成11年 (1999)

・コープふくしま、県南生協の再建が大きな課題。

●平成9年から13年までの流行語

平成9年
 「失楽園(する)」
 平成10年
 「ハマの大魔神」「凡人・軍人・変人」「だっちゅーのハイ」
 平成11年
 「ブッチホン」「リベンジ」「雑草魂」
 平成12年
 「おっはー」「IT 革命」
 平成13年
 「小泉語録」

平成12年 (2000)

・7月、non-GMO生協牛乳を開発。
 ・マイバスケ運動。
 ・生協連ホームページ開設。
 ・介護保険開始。
 ・県生協連中長期5ヵ年計画策定。
 ・女性理事クラブが男女共同参画について提言。

平成13年 (2001)

・日本ユニセフ協会福島県支部設立を総会で決定。



・「食に消費者主権を！」決議。

●平成9年から13年までの日本レコード大賞

平成9年
 「CAN YOU CELEBRATE?」
 安室奈美恵
 平成10年
 「wanna Be A Dreammaker」
 globe
 平成11年
 「Winter,again」
 GLAY
 平成12年
 「TSUNAMI」
 サザンオールスターズ
 平成13年
 「Dearest」
 浜崎あゆみ

平成9年 (1997)

3月11日 茨城県東海村の動力炉・核燃料開発事業団東海事業所で爆発事故が発生、作業員が被爆し施設外に放射能が漏れるなどの被害
 3月22日 秋田新幹線「こまち」が運行開始
 4月1日 消費税が3%から5%に引き上げ
 6月28日 「神戸市須磨区連続児童殺傷事件（酒鬼薔薇事件）」が発生。犯行声明文で「酒鬼薔薇聖斗」と名乗った14歳の少年が逮捕される
 7月1日 香港がイギリスから中国に返還
 8月31日 イギリス元皇太子妃ダイアナがパリ市内のセーヌトンネルで事故死
 9月6日 ノーベル平和賞を受賞したカトリック修道女・マザー・テレサが死去
 10月1日 長野新幹線が開業
 12月18日 東京湾アクアラインが開通

平成10年 (1998)

2月2日 郵便番号が5桁から7桁に
 2月7日 長野冬季五輪開幕。日本は金5・銀1・銅4のメダルを獲得
 4月5日 明石海峡大橋が開通
 5月27日 地下鉄サリン事件の林都夫被告に無期懲役の判決
 7月4日 日本初の火星探査機「のぞみ」が打ち上げに成功
 7月25日 アメリカのマイクロソフト社が「Windows '98 日本語版」を発売
 7月25日 「和歌山市園部地区毒入りカレー事件」和歌山市園部地区自治会の夏祭りでのカレーライスにヒ素が混入、4人が死亡、67人が中毒症状
 7月30日 小淵恵三 首相内閣が始まる
 8月31日 北朝鮮のロケット「テポドン」が日本上空を通過して太平洋に着弾

平成11年 (1999)

3月3日 日本銀行、ゼロ金利政策実施
 4月1日 日本、米（コメ）が関税化（市場開放）
 4月11日 石原慎太郎、東京都知事に当選
 5月1日 アムステルダム条約発効
 6月1日 ソニーが子犬型ペットロボット「AIBO」の発売を開始
 6月1日 住民基本台帳法が改正
 6月23日 男女共同参画社会基本法が成立
 7月8日 中央省庁等改革関連法、地方分権一括法が成立
 8月9日 国旗国歌法成立
 10月12日 改正住民基本台帳法が成立
 10月20日 マカオがポルトガルから中国に返還

平成12年 (2000)

2月13日 1984年の自称「かい入21面相」によるグリコ森永事件の時効が成立
 3月8日 東京都目黒区の営団地下鉄日比谷線の中目黒駅付近で脱線事故が発生、反対側から来た電車と衝突し死者5人、重傷者60人
 4月5日 森喜朗首相内閣が始まる
 5月9日 犯罪被害者法が成立
 7月10日 雪印乳業の乳製品を飲んだ消費者が次々と異常を訴えた問題で、雪印乳業が回収後に処分するはずの乳製品を再利用するなど悪質な不正工作を行ったことが発覚し、厚生省から操業停止の判断が下される
 7月19日 紫式部を肖像とした二千円札が発行される
 7月21日 沖縄県名護市で主要国首脳会議（サミット）が開かれる
 9月16日 シドニー五輪で日本は金5・銀8・銅5のメダルを獲得、女子マラソンで高橋尚子選手が大会新記録で金メダルを獲得し国民栄誉賞を受賞
 11月28日 少年法改正案が成立、刑事罰の対象年齢が16歳から14歳に
 12月12日 都営地下鉄大江戸線が開通

平成13年 (2001)

1月20日 アメリカでジョージ・ブッシュ大統領が就任
 2月28日 108歳の蟹江さんさんが老衰のため死去
 3月31日 大阪府にユニバーサル・スタジオ・ジャパンがオープン
 4月26日 小泉純一郎 首相内閣が始まる
 9月4日 東京ディズニーシーがオープン
 9月10日 日本で初めて狂牛病に感染した乳用牛が発見される
 9月11日 アメリカ同時多発テロ事件（9.11テロ事件）で犠牲者3000人以上
 12月1日 皇太子妃・雅子さまが第1子をご出産

平成14年(2002)

・「食の安全請願」が県内9割の82自治体で採択。
・共同購入4県連帯に向けた「共同購入統一委員会」をスタート。
・「有事立法は戦争への道、今こそ平和の声を高く」決議。



平成15年(2003)

・「消費者保護基本法の抜本改正等を求める」請願が県内70自治体で採択。
・日本ユニセフ協会福島県支部創設。



・4県連帯共同購入事業に、コープふくしま、コープあいづ、県南生協が参加。

いわき市民生協は1年後参加予定。

・遺伝子組み換え食品に関する学習会を精力的に行う。



・ユニセフハンドインハンド募金を福島市に限らず、コープあいづ、県南生協でも取り組む。



平成16年(2004)

・食品表示の適正化のため、食品表示モニター活動を行う。



・「ふくしdeまちづくり」の取組みを行う。



・日本国憲法を考える学習を通して「第9条を護り、世界に広げよう」とのことで各地の九条の会づくりへの契機となる。

平成17年(2005年)

・いわき市民生協、バルシステム事業連合へ加盟。
・生協法改正に向けた学習会、残留農業等のポジティブリスト制度移行に向けた学習会。



・女性理事クラブ主催のセミナーに男性理事も含めた役員セミナーへ。

・コープふくしまの再建は、経理機能や店舗事業について、みやぎ生協やサンネットの全面支援を受ける。

平成18年(2006)

・コープふくしまでは、みやぎ・サンネットとの事業連帯を一体化レベルまでに深化させるため、経理・システム・商品部などの本部機能、店舗・共同購入事業の運営部機能統一。
・ふくしま大豆の会、生産農家応援納豆を売り出す。



・ユニセフ県支部創立3周年記念のユニセフのつどいにアグネスチャンを招いて実施。約800名の参加。



・福島県中央生協、後のあいづコープふくしまが生協連に加盟。
・「クレ・サラの金利引き下げ等」を求める請願署名の取組み。

●平成14年から18年までの日本レコード大賞

- 平成14年 「Voyage」 浜崎あゆみ
- 平成15年 「No way to say」 浜崎あゆみ
- 平成16年 「Sign」 Mr.Children
- 平成17年 「Butterfly」 倅田来未
- 平成18年 「一剣」 水川きよし

●平成14年から18年までの流行語

- 平成14年 「タマちゃん」「W杯」
- 平成15年 「毒まんじゅう」「なんでだろ～」「マニフェスト」
- 平成16年 「チョー気持ちいい」
- 平成17年 「小泉劇場武部勤」「想定内(外)」
- 平成18年 「イナバウアー」「品格」

平成14年(2002)

1月1日 ユーロ圏12ヶ国で欧州単一通貨「ユーロ」が流通開始
2月8日 ソルトレクシティー冬季五輪開幕。日本は金0・銀1・銅1のメダルを獲得
5月31日 日本・韓国共同開催のサッカーW杯開幕。日本はベスト16、韓国はベスト4の成績、優勝国はブラジル
8月5日 住民基本台帳ネットワークが稼働
9月17日 北朝鮮の金正日総書記が小泉首相との会談で日本人拉致事件を認め謝罪
10月7日 アメリカ・メジャーリーグでサンフランシスコ・ジャイアンツのバリー・ボンズ選手が73号の本塁打を打ち、シーズン最多本塁打記録を更新
10月8日 島津製作所・田中耕一所員がノーベル化学賞、東京大学・小柴昌俊名誉教授がノーベル物理学賞を受賞

平成15年(2003)

1月10日 北朝鮮が核拡散防止条約(NPT)から脱退
1月20日 横綱・貴乃花が引退
1月29日 朝青龍がモンゴル人として初めて横綱に昇進
3月20日 アメリカ・イラク戦争、アメリカ軍がイラクへの攻撃を開始
3月24日 宮崎駿監督「千と千尋の神隠し」がアカデミー賞長編アニメ映画賞を受賞したほか、ベルリン国際映画祭グランプリやアニメ賞なども受賞
4月1日 六本木ヒルズがオープン
4月4日 新型肺炎のSARS(重症急性呼吸器症候群)が新感染症に指定され、7月の終息宣言までに32ヶ国で患者774人が死亡
7月26日 「宮城県北部地震」宮城県北部で震度6クラスの地震が3回発生、負傷者700人以上、およそ5000戸の住宅が被害
9月26日 北海道釧路沖地震が発生、死者1人、重軽傷者20人以上
12月1日 地上デジタル放送開始

平成16年(2004)

2月11日 アメリカでの狂牛病発生に伴う米国産牛肉の輸入停止の影響で、吉野家が牛丼の販売を中止
3月20日 トリフターズのいかりや長介が死去
4月1日 東京都の営団地下鉄と成田空港が民営化
8月11日 東京都心で38日間連続真夏日の最長記録
8月13日 アテネ五輪開幕。日本は金16・銀9・銅12のメダルを獲得、柔道・野村忠宏選手が五輪3大会連続で金メダルを獲得
10月4日 メジャーリーグでシリアル・マリナーズのイチロー選手がシーズン最多安打記録を84年ぶりに更新、262安打まで記録を伸ばし今季を終了
10月23日 「新潟県中越地震」新潟県中越地方で震度6強の地震が3回発生、死者39人、被災者10万人以上
11月1日 一万円札・福沢諭吉、五千円札・樋口一葉、千円札・野口英世を肖像とした新札が発行される
11月2日 宮城県仙台市を本拠地とする「東北楽天ゴールデンイーグルス」が誕生
12月26日 インドネシアのスマトラ島沖のM9.0の地震が発生、津波による被害で日本人32人を含む約29万人が死亡

平成17年(2005)

2月16日 京都議定書発効
3月18日 旧声優陣によるテレビ朝日系列「ドラえもん」が放送終了
3月25日 2005年日本国際博覧会(愛知万博)「愛・地球博」が開幕
3月29日 インドネシアのスマトラ島西方でM8.7の地震が発生、ニアス島を中心に犠牲者およそ2000人
4月1日 個人情報保護法全面施行
7月26日 野口聡一宇宙飛行士が搭乗するスペースシャトル「ディスカバリー」が打ち上げに成功
8月24日 首都圏新都市鉄道(つくばエクスプレス)が開業
8月26日 ハリケーン「カトリナ」が米国フロリダ州に上陸。約1,200人の死者を出す
11月17日 千葉県市川市の姉歯建築設計事務所が設計されたマンションやホテルの構造計算書が偽造され、震度6クラスの地震で倒壊の危険がある建物が建てられていることが発覚
11月22日 ドイツ首相にアンゲラ・メルケルが就任。女性及び旧東ドイツ出身者のドイツ首相就任は初
11月25日 歌舞伎がユネスコの無形文化遺産に登録されることが決まる

平成18年(2006)

1月23日 「ライブドア事件」ライブドアの堀江貴文社長と取締役3人が証券取引法違反容疑で逮捕される
2月10日 冬季トリノオリンピックで日本は金1・銀0・銅0のメダルを獲得。女子フィギュアスケートで荒川静香選手がアジア勢初の金メダルを獲得
2月16日 神戸国際空港が開港
3月21日 第1回WBCで王貞治監督率いる日本が優勝
3月27日 オウム真理教の教祖・松本智津夫被告の死刑が確定
4月1日 電気用品安全法(PSE法)が施行される
6月21日 汚染された血液製剤を投与され、C型肝炎ウイルスに感染したとして患者が国などに損害賠償を求めた裁判で原告の患者側が勝訴
7月2日 ハロマ工業製ガス瞬間湯沸かし器による一酸化炭素中毒事故で、過去19年間で死者21人と発表される
9月6日 秋篠宮紀子さまが男子「悠仁(ひさひと)」さまをご出産
12月30日 イラクのサダム・フセイン元大統領の死刑が執行される

平成19年～26年 (2007～2014)

平成19年 (2007)

・COOP牛肉コロッケ「ひき肉偽装」、COOP鳴門産わかめの産地偽装、COOP手作り餃子による重大中毒事故発生。
 ・福祉灯油が、県内28市町村で実施。約35,500世帯が対象。
 ・「灯油高騰問題対策本部」を立ち上げ、JA・森連・漁連・生協でなる「協同組合四組織原油高騰問題連絡会」を開催。



・理事会のもとに「購買生協部会」「医療生協部会」、発展解消となった女性理事クラブの後継組織として「組合員活動部会」を設置し、分野別課題については、「たべるたいせつ委員会」「かんきょう委員会」「へいわ委員会」「ユニセフ委員会」「くらし委員会」「ふくし委員会」を立ち上げ、組合員活動部会を構成する女性理事が役割分担して担当。

●平成19年から23年までの日本レコード大賞

平成19年
「蕾」コブクロ

平成20年
「Ti Amo」EXILE

平成21年
「Someday」EXILE

平成22年
「I Wish For You」EXILE

平成23年
「フライングゲット」AKB48

平成20年 (2008)

・新生協法施行。県生協連未加入生協へも学習会や定款変更の実務支援。
 ・労働団体・労働事業団体へ呼びかけし「消費者行政一元化の動きと消費者庁設立について」学習会を開催。
 ・分野別委員会では、交流学習会を企画運営。
 ・JA・森連・漁連・生協でなる「地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会(通称:地産地消ふくしまネット)」が設立。最初の取組みとして「原油高騰対策本部」を設置しました。第1回絆祭が開催されました。



・生協大は、地産地消ふくしまネット設立記念、「食料・農業農村問題県民会議」との共催で、「食料自給率向上!消費者と生産者の絆の強化」をテーマに開催しました。
 ・「農を変えたい東北集会inふくしま」に実行委員として参加しました。
 ・生協法60周年に当たり熊谷会長厚生労働大臣表彰。



平成21年 (2009)

・「賀川豊彦献身100年」記念学習会「賀川豊彦の生涯と協同組合思想～身近で教養を受けたこと～」を開催



・消費者力講座を県労福協にある福島県ライフサポートセンターと共催で開催。



・同上の福島県ライフサポートセンターとかんきょう委員会の共催で「里山プロジェクト」を開催。
 ・5月26日、福島県消費者ネットワーク設立。財団法人福島県婦人団体連合会、福島県生活学校連絡協議会、福島市消費者団体懇談会、JA福島女性部協議会、福島県漁協女性部連絡協議会、福島県労働福祉協議会、県生協連の7団体でスタート。



平成22年 (2010)

・消費者力検定試験(認定者によるライフサポートふくしま「くらし相談員の会」)が設立。



・たべるたいせつ委員会で漁協女性部、JA女性部との合同で、「食べることは生きる」と題した学習会と漁協女性部から「旬の魚をさばいてみよう」JA女性部から「地元の食文化」として、調理講習会を開催。



・地産地消ふくしまネットでは、シンポジウムを開催するとともに、具体的な事業モデルについて検討を開始。

●平成19年から23年までの流行語

平成19年
「(宮崎を)どげんかせんといかん」「ハニカミ王子」

平成20年
「グ〜」「アラフォー」

平成21年
「政権交代」

平成22年
「ゲゲゲの〜」

平成23年
「なでしこジャパン」

平成23年 (2011)

・東日本大震災発生。
 ・2012国際協同組合年福島県実行委員会発足
 ・東北ブロック地方消費者グループフォーラムを福島県消費者ネットワークが事務局になって開催。
 ・地産地消ふくしまネット主催「絆で復興!ふくしまSTYLE」を開催。
 ・「福島市子どもの権利に関する条例」制定を求める請願が9月定例会議会で全会派の賛成で採択。

東日本大震災・東京電力第一原発事故関連

・東日本大震災により、福島県に全国から義援金が贈られる。総額10億4,500万円となった。



・「福島の子ども保養プロジェクト」発足。



・ベラルーシ・ウクライナ福島調査団参加。

平成19年 (2007年)

1月20日 関西テレビ制作「発掘!あるある大事記」の「納豆ダイエット」の企画の中で捏造された実験データを放送していたことがわかり、スポンサーが降板、番組打ち切り

3月21日 インフルエンザ治療薬「タミフル」を服用した患者が異常行動を起こす疑いがある問題で、厚生労働省が医療機関に10代患者に同薬を投与しないよう指示

5月15日 国民投票法が成立

6月21日 教育改革関連3法が国会で可決成立。内容は教育免許更新制の導入、30時間以上の更新講習の受講義務化など

7月11日 アメリカ大リーグのオールスター戦でマリナーズのイチロー選手が日本人初のMVP

7月16日 「新潟中越沖地震」新潟・長野で震度6強の地震が発生。死者7人、負傷者800人以上

8月1日 大相撲の横綱・朝青龍が夏巡業への休場届を出しながらモンゴルでサッカーに興じた問題で、日本相撲協会が朝青龍に2場所の出場停止処分を下す

8月25日 「大阪世界陸上」世界陸上選手権が大阪で開催。メダル獲得は女子マラソンでの土佐礼子選手の銅メダル1個のみ

9月23日 福田康夫元官房長官が新総裁に確定。父・福田利夫元首相に続き、初の親子2代の首相

10月1日 郵政民営化がスタート

10月24日 北海道苫小牧市の食肉加工販売会社「ミートホープ」の元社長ら4人が不正競争防止法違反(虚偽表示)の容疑で逮捕。

平成20年 (2008年)

1月11日 新テロ対策特別措置法案が国会で成立

1月11日 薬害肝炎被害者救済特別措置法が国会で成立

1月22日 JFの子会社「ジェイティブーズ」が中国河北省の「天洋食品」から輸入、販売した中国製冷凍ギョーザを食べた人に健康被害が出る。のちに同商品のバックが農業「メタミドホス」が検出される

1月27日 大阪府知事に橋下徹氏

2月19日 千葉県野島崎沖で海上自衛隊のイージス艦「あたご」が民間の漁船と衝突事故を起こす。

4月1日 後期高齢者医療制度が施行

6月8日 秋葉原で通り魔事件発生(秋葉原無差別殺傷事件)、7人死亡、10人が怪我

7月1日 タスポ(成人識別カード)が全国で導入

7月7日 北海道洞爺湖町で洞爺湖サミットが開催

8月8日 北京オリンピックが開幕

9月15日 アメリカの大手証券会社リーマン・ブラザーズが破たん

10月7日 ノーベル物理学賞に南部陽一郎、小林誠、益川敏英の3氏、化学賞に下村脩氏と日本人が一挙に4人受賞。日本人受賞者は計16人

11月14日 ワシントンでG20金融サミットが開催

11月22日 APEC首脳会議が開幕 特別声明を発表

12月31日 年越し派遣村が開催

平成21年 (2009年)

1月20日 アメリカ大統領就任式 バラク・オバマ大統領が就任

3月24日 ワールドベースボールクラシック(WBC)で日本が優勝

4月21日 和歌山・毒物カレー事件で林真須美被告の死刑判決が確定

5月18日 スリラン国内戦が終結

6月25日 歌手のマイケル・ジャクソンさんが死亡

7月22日 皆既日食46年ぶりに日本で観測

7月31日 宇宙飛行士・若田光一さんが4か月ぶりに地球に帰還

8月3日 初の裁判員裁判が始まる

8月19日 新型インフルエンザの国内流行を宣言

9月1日 消費者庁が発足

11月5日 ヤンキースの松井秀喜選手、ワールドシリーズMVPに

11月11日 行政刷新会議の事業仕分けがスタート

11月13日 オバマ大統領が初来日 日米首脳会談

平成22年 (2010年)

1月6日 シー・シェパード船が捕鯨船と衝突

2月12日 カナダ・バンクーバーで冬季五輪が開幕

3月23日 アメリカで医療保険制度改革法が成立 アメリカ史上初の国民皆保険が導入へ

3月31日 高校授業料無償化法案が成立

4月5日 宇宙飛行士・山崎直子さんが登場するスペースシャトル「ディスカバリー」が打ち上げ

4月23日 事業仕分け第2弾が開始

4月27日 殺人事件の時効廃止

7月17日 改正臓器移植法が施行

8月1日 ビキニ環礁、ユネスコ世界遺産に登録

10月6日 ノーベル化学賞に北海道大学の鈴木章名誉教授と米・バドュー大学の根岸英一特別教授

11月10日 アジア太平洋経済協力会議(APEC)が横浜で開催

11月13日 ミャンマーの民主化運動指導者、アウン・サン・スー・チーさんが7年半ぶりに自宅軟禁を解かれる

12月4日 東北新幹線「東京～新青森間」で全線開通

12月7日 レーンック手術で患者が角膜炎などに感染「銀座眼科」の元院長逮捕

平成23年 (2011年)

1月1日 前年のクリスマスから、児童養護施設に匿名で寄付を行う「タイガーマスク運動」が全国に広がる

1月23日 東京都・秋葉原の歩行者天国が約2年7カ月ぶりに再開する

3月11日 日本の東北地方太平洋沿岸を震源とする、マグニチュード9.0の地震が発生。M9.0という規模は世界で1900年以降4番目に日本国内観測史上最大。また、この地震で福島第一原子力発電所が被害を受け、それによって大規模な原子力事故が発生

4月1日 完全実施される新学習指導要領で「小学5、6年生の英語活動」が必修化

5月2日 国際テロ組織アル・カーイダの最高指導者、ウサマ・ビンラディン容疑者がパキスタンのアボッターバードにて銃撃戦の末に殺害

6月24日 小笠原諸島がユネスコの世界遺産(自然遺産)の登録物件となる

6月26日 平泉の歴史的建造物群が「平泉一仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」の名でユネスコの世界遺産(文化遺産)の登録物件となる

6月26日 ドイツで2011 FIFA女子ワールドカップが開催される。サッカー日本女子代表(なでしこJAPAN)が初優勝

7月9日 スーダンの南部が南スーダン共和国として分離独立

7月22日 ノルウェーの首都オスロにある首相府で爆破テロ事件発生

7月24日 被災3県(岩手・福島・宮城)を除く44都道府県で、地上デジタルテレビ放送へ全面移行。

10月11日 大津市中2いじめ自殺事件、本事件で再びいじめが社会問題になる。

平成24年 (2012)

・消費者庁平成24年度消費者支援功労者「ベスト消費者サポーター賞」受賞。



・福島県消費者ネットワークが「いきいき消費者行政パートナーシップ表彰」受賞。
・2012年国際協同組合年記念企画に取り組む。

平成25年 (2013)

・消費者支援功労者「内閣総理大臣表彰」受賞



・平成24年度「厚生労働大臣表彰」受賞



平成26年 (2014)

・JAグループとともに「福島支援交流会福島のとと農・くらしの再生に向けて」開催。
・地産地消ふくしまネット主催「真の農協改革と協同組合の価値を福島から発信」開催。



平成27年 (2015)

・安全保障関連法案の即時撤回を求める抗議文を2度にわたって送付

●平成24年から27年までの日本レコード大賞

- 平成24年 「Sounds good!」 AKB48
- 平成25年 「EXILE PRIDE~こんな世界を愛するため~」 EXILE
- 平成26年 「R.Y.U.S.E.I.」 三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE
- 平成27年 「Unfair World」 三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE

東日本大震災・東京電力第一原発事故関連

・原発震災対応として「放射能と健康問題プロジェクト」「風評被害と生産・流通問題プロジェクト」「損害と賠償問題プロジェクト」「脱原発とエネルギー問題プロジェクト」を立ち上げ。



・「土壌スクリーニングプロジェクト」スタート。



東日本大震災・東京電力第一原発事故関連

・地産地消ふくしまネットが進める「土壌スクリーニングプロジェクト」が日本協同組合学会賞実践賞
・「安心して住める福島を取り戻すために」署名活動。577,760筆集まる。



・福島県「消費者と生産者等の理解・交流促進事業」受託。



東日本大震災・東京電力第一原発事故関連

・「被災者生活再建支援制度の拡充を求める運動」を東北6県の生協とともに推進。
・「土壌スクリーニングプロジェクト」終了。JA新ふくしまスタッフと全国生協から述べ300人のボランティアを受け、同JA管内水田約7割、果樹園全圃場の測定終了。
・「被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める国会請願署名」全国で56万2,551筆が集まる。請願署名を国会へ提出。



東日本大震災・東京電力第一原発事故関連

・「被災者生活再建支援制度の拡充を求める運動」を東北6県の生協とともに推進。



・「子ども被災者支援法」基本方針改定案へのパブリックコメントを提出。

・「福島の子ども保養プロジェクト」「こども遊び塾」スタート、5年目を迎え継続実施中。



●平成24年から27年までの流行語

- 平成24年 「ワイルドだろお」
- 平成25年 「今でしょ!」「お・も・て・な・し」「じぇいじぇい」「倍返し」
- 平成26年 「ダメよ～ダメダメ」「集団的自衛権」
- 平成27年 「爆買い」「トリプルSリー」

平成24年 (2012年)

- 2月10日 復興庁が発足。
- 3月12日 国勢調査局の推計で世界人口が70億人を突破する
- 5月22日 東京スカイツリーが開業
- 7月1日 食品衛生法により生の牛レバー(レバ刺し)の提供禁止
- 7月9日 出入国管理法改正に伴う「新しい在留管理制度」施行により外国人登録制度廃止
- 7月27日 ロンドンにて第30回夏季オリンピック開催
- 9月19日 原子力規制委員会が発足
- 9月24日 オウム真理教事件の全捜査が完全に終了
- 9月29日 レスリングの吉田沙保里が世界選手権で優勝、アレクサンドル・カレリンの12連覇の記録を破り史上最多記録となる世界大会13連覇を達成
- 10月1日 著作権法改正
- 10月26日 マイクロソフトのOS「Microsoft Windows 8」発売。
- 12月8日 任天堂、「Wii U」発売

平成25年 (2013年)

- 1月1日 復興特別所得税導入(2037年(平成49年)まで)
- 4月1日 障害者雇用率を2%に引き上げ
- 4月19日 公職選挙法の改正案が参院で可決成立。インターネット選挙運動が解禁となる
- 6月26日 カンボジア・ブノンペンで開かれたUNESCO第37回世界遺産委員会で、日本の富士山を含む世界文化遺産14件、世界自然遺産5件、計19件を新規に登録(6/26)
- 8月5日 国際通貨基金による日本経済に関する2013年の年次審査報告書で、アベノミクスにより景気見通しが「著しく改善している」と評価
- 9月26日 東北楽天ゴールデンイーグルスが初のパ・リーグ優勝
- 10月8日 東北楽天ゴールデンイーグルスの田中将大が24勝0敗でシーズンを終え、史上4人目、2リーグ制以降2人目のシーズン勝率:1.000を記録する。さらに日本プロ野球史上初でシーズン無敗での最多勝を獲得した。
- 12月29日 マルハニチロホールディングス子会社であるアクリアーズの群馬工場で生産された冷凍食品から農薬(馬拉チオン)が検出され、自主回収を実施

平成26年 (2014年)

- 2月5日 作曲家佐村河内守が、交響曲「HIROSHIMA」などの楽曲の作曲を特定の他者に依頼してきたことを公表
- 2月7日 ソチオリンピック開幕
- 3月31日 フジテレビ系列の長寿番組森田一義アワー笑っていいとも!が放送終了し、31年半の歴史に幕を下ろす。
- 4月1日 消費税増税実施(5%→8%)
- 6月21日 ユネスコの世界文化遺産委員会で、富岡製糸場と絹産業遺産群の世界文化遺産登録決定
- 7月2日 ネイチャー、STAP細胞に関する論文2本を撤回
- 7月22日 日本マクドナルドとファミリーマートが保存期限を過ぎた鶏肉を使用した可能性があるとして、チキンナゲットの販売を中止
- 8月8日 世界保健機構(WHO)は、西アフリカ諸国にエボラ出血熱の感染が拡大していることをうけ、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言
- 9月18日 スコットランドでイギリスからの独立を問う住民投票(2014年スコットランド独立住民投票)を実施。結果は「否決」。
- 9月27日 御嶽山が7年ぶりに噴火。
- 11月27日 ユネスコの世界文化遺産に「和紙 日本の手漉し紙技術」が登録された

平成27年 (2015年)

- 1月16日 東京地方裁判所において、オウム真理教事件の高橋克也の初公判
- 2月12日 韓国ナッツリターン問題で前副社長に懲役1年、従業員に虚偽証言を強要したなどとして起訴された同社常務に懲役8ヶ月の実刑判決
- 3月1日 経済団体連合会の新ルールにより、2016年春大学新卒予定者の就職活動が、前年度までの「3年生の12月から」より3か月繰り下げて解禁となる
- 3月14日 北陸新幹線、長野駅-金沢駅間の営業運転開始
- 3月14日 仙台市で、第3回国際連合防災世界会議開催
- 4月22日 首相官邸屋上にて墜落したドローンが発見される
- 5月2日 イギリス王室のキャサリン妃が第2子の女兒「シャーロット・エリザベス・ダイアナ」を出産
- 5月17日 大阪都構想の是非を問う住民投票が大阪市の住人約210万人を対象に実施され、反対多数で否決。提唱者の橋下徹市長は政治家引退を表明
- 6月17日 自転車の悪質・危険な運転者に安全講習の受講を義務付ける改正道路交通法が施行
- 6月17日 選挙権の年齢を20歳以上から18歳以上へと引き下げた公職選挙法改正案が参議院で可決成立
- 7月16日 東海道新幹線のぞみ225号の車内で焼身自殺、小田原市内で緊急停車、死者も出ている
- 8月9日 長崎に原子爆弾投下から70年を迎えたこの日、長崎市の平和公園で長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典
- 9月19日 参院本会議において安全保障関連法案の採決が行われ、賛成多数により可決成立。

10月29日 2015年ワールドカップイングランド大会、ラグビーの日本代表は1次リーグB組初戦で過去2回の優勝を誇る強豪・南アフリカに34-32で逆転勝ちし歴史的勝利を収めた。



創立70周年記念福島県生協大会 次第

記念トーク「震災から6年：福島のみらい、協同組合の使命」

コーディネーター：小山 良太様（福島大学経済経営学類教授）

パネラー

丹波 史紀様（福島大学行政政策学類准教授）

「震災から6年、福島の抱える課題と生協への期待」

中村 夏美様（大阪府生協連専務理事）

「震災復興と生協の役割」

川向 雄大様（大阪教育大学3年生）

「コヨットに参加して、見えてきたこと」

高萩 美希様（福島大学3年生・おかわり農園）

「福島の再生のために食と農をつなぐ」

川上 雅則様（JA 福島中央会常務理事）

「地産地消ふくしまネットとしての生協への期待」

休憩

記念講演「東日本・津波・原発事故大震災から5年6ヵ月の教訓。 伝えることの大切さ 伝わることのすばらしさ」

講師：大和田 新 様



プロフィール

- 元ラジオ福島アナウンサー
- 出身地 神奈川県横須賀市
- 趣味 ラーメン・餃子の食べ歩き
- 座右の銘 果報は寝て待て
- 忘れられない出来事
2011年3月11日午後2時46分発生の「東日本・津波・原発事故大震災」
- 福島の好きなところ
震災に負けずに「絆」をつないで、頑張っているところ。特に未来に向かって笑顔で頑張る若者達。
- 好きな食べもの
福島の米。福島の野菜。福島の果物。福島の魚。
- 担当番組
・ニューシニアマガジン 大和田新のラヂオ長屋
(毎週土曜日 7:00～13:00)
・月曜 Monday 夜はこれから! (毎週月曜日 19:00～21:00)

閉会